

## <まとめ>

地球温暖化という言葉は、既に日常で使われる言葉となっています。地球温暖化の影響について、環境省が作成した「こども環境白書」では、わかりやすい例として次のように紹介しています。

1℃高くなると、異常気象による危険性が高まる。

3℃以上高くなると、地上にある氷が大規模に溶けて海水面が上がる可能性がある。

そして2℃高くなると、環境の変化に適応する能力が限られている生き物は、絶滅の危機にさらされる。つまり、生物多様性の危機ということです。

天拝の森には、いろいろな種類の生き物がいました。これらの生き物は、食べたり・食べられたりの関係でつながっています。そのことを概念的に表現した「生態系ピラミッドの図」を一度は見たことがあるはずですよ。

この生態系ピラミッドの中に、人間は「食べたり・食べられたり」の関係として組み込まれているわけではありません。しかし、この生態系ピラミッドを構成する様々な生き物からいろいろな物を得て生きています。

植物が光合成で出す酸素を吸い、人間が吐き出した二酸化炭素は植物が吸収しています。

いろいろな生き物を食料や原材料として利用しています。

川からはきれいな水を取って利用し、使い終わった水を川に排出しています。そして、この川の水をきれいにしているのも、川に棲む生き物のおかげです。

このように、私たちの暮らしは、生き物からのめぐみに支えられています。

水に着目すると、地球は「水の惑星」と呼ばれ、水が豊富なイメージですが、その97.5%は海水です。淡水は2.5%しかありません。人が利用できる状態で存在しているのは、わずか0.01%しかないとされています。そして、その70%が農業、つまり食料を作るために使われています。

日本は食料の多くを輸入に頼っています。国外から輸入される食料を、その生産に必要な水に置き換えて表現したものがバーチャルウォーター（仮想水）です。

例えば、1kg のとうもろこしを生産するには1,800リットルの水が必要です。牛は穀物を大量に消費しながら育つため、牛肉1kgを生産するには20,000リットル以上の水が必要であるといわれています。身近な例として、牛丼1杯を作るのに必要とされるバーチャルウォーターは1,889リットルと計算されます。

食料にはこれだけ多くの水が必要ですが、国外では水不足や水質汚染が深刻化している国や地域が多くあり、果たして日本に住む人々がいつまでも今のままの食事ができるとは限らないということです。



そこで、食料を外国に頼らない食生活のあり方として、「地産地消」が挙げられます。地域の産物を旬の季節に味わうことで自然のめぐみの大切さを感じられるだけでなく、国外からの輸入に比べて圧倒的に流通エネルギーを削減できること等のメリットがあります。

さらに、生物多様性には未来の可能性があり、積極的に守るべき価値があります。

薬の40%は生き物が作る成分から開発されたと言われてしています。

現在、2人に1人がガンに罹り、3人に1人がガンで死亡すると言われてしています。ガンには予防(早期発見)、医療(治療法)、共生(社会生活)の各段階がありますが、予防(早期発見)が重要なのは言うまでもありません。

先日、九州大学発のベンチャー企業が福岡県と久留米市の支援を受けて、線虫(土壌などに生息する微小生物)を使ったガン早期発見方法を開発し、実用化が近いという報道がありました。この線虫がガン患者の尿に含まれる特有のにおいに近づく性質を利用した方法です。ガンは進行度により0~4の5段階のステージがありますが、この方法はステージ0~1の早期のガンであっても発見でき、1滴の尿があれば1時間ほどの短時間で、約85%の確率で特定できるという技術です。費用も数千円~1万円程度が予定されており、検査を受ける人の身体的・精神的・時間的・経済的な負担が減らせます。

このように、生き物を利用して私たちの健康を守る技術が作られています。医療(治療法)に関しても、まだ知られていない生き物からガンの特効薬が見つかるかもしれません。

また、生き物の形や構造、機能を模倣して技術を開発することを「バイオミクリー」といいます。これも既にいくつか実用化していて、蚊に刺されても痛みを感じないことから、蚊の針を真似て極細でギザギザのついた「痛くない注射針」が開発されています。他にも、500系新幹線の先端の形は空気抵抗を減らすためにカワセミの頭部の形を真似て作られました。

このように、私たちの暮らしは、生き物のめぐみに支えられています。その基礎となっている生物多様性には地球温暖化等の脅威が迫っています。

そこで、将来にわたって地球が住みやすくあり続けるために、世界で決めた合言葉がSDGsです。

これは、2030年に地球上の誰一人として取り残さないことを誓い、世界中が取り組んでいく目標として設定されたものです。

全部で17個の目標が示されています。これらはそれぞれが別々な方向を向いているのではなく、相互に関係しています。家庭でできる省エネ・節電の取組みは「Goal13 気候変動に具体的な対策を」のゴールに向かうための一歩です。そして、それは「Goal14 海の豊かさを守ろう」「Goal15 陸の豊かさを守ろう」に含まれる生物多様性の保全につながります。そして、生物多様性からのめぐみを受けて「Goal3 すべての人に健康と福祉を」の基盤となる技術の開発も行われていくのです。

これらは誰か一人の力では達成できません。「Goal17 パートナリシップで目標を達成しよう」とおり、一人ひとりの力が束になって、ゴールへと進んでいくのです。

一方で、日本の合言葉はCOOL CHOICEです。省エネ・節電を心がけること。エコドライブに取り組むこと。環境に優しい商品

The image contains two parts. The top part is a grid of 17 Sustainable Development Goals (SDGs) icons, each with a number and a brief description in Japanese. The bottom part is a campaign poster for 'COOL CHOICE' (Cool Choice) with the slogan '地球にやさしい = いまより快適' (Earth-friendly = even more comfortable). The poster lists three key actions: 1. Turn off lights and set the temperature correctly to save energy. 2. Participate in Eco-driving. 3. Choose eco-friendly products. The poster also states the goal of keeping temperature rise below 2°C.

エス ディー ジーズ  
**SDGs**  
持続可能な開発目標

1 貧困をなくそう  
2 気候変動に具体的な対策を  
3 すべての人に健康と福祉を  
4 質の高い雇用を創出  
5 ジェンダー平等を実現しよう  
6 安全な水とトイレを世界中に  
7 持続可能なエネルギー  
8 豊かさを創出しよう  
9 産業、イノベーション、雇用を促進しよう  
10 人や国の不平等をなくそう  
11 持続可能な都市を創出しよう  
12 持続可能な消費と生産  
13 気候変動に具体的な対策を  
14 海の豊かさを守ろう  
15 陸の豊かさを守ろう  
16 平和と公正な社会を築こう  
17 パートナリシップで目標を達成しよう

COOL CHOICE  
地球にやさしい = いまより快適  
●消灯、適切な温度設定、節電を心がけよう！  
●エコドライブに取り組もう！  
●エコ家電、環境に優しい商品  
未来のために、いま選ぼう。  
ライフスタイルを賢く選択  
気温上昇を2℃未満に！

を選ぶこと。このようにライフスタイルを賢く選択することが、COOL CHOICEです。COOL CHOICEの行動は、何かを我慢しなければいけないとか、難しすぎてやれないということはありません。しかし、エネルギーにかけるお金を確実に節約することができるし、地球温暖化にブレーキをかけることができます。地球に優しい行動は、今より快適な暮らしにつながります。

今日からできるCOOL CHOICEとして、エコドライブがあります。急発進や急加速をやめることで、排出ガスを減らすだけでなく、安全運転にもつながります。

例えば、「ふんわりアクセルスタート」は、発進から最初の5秒間で時速20kmに達するぐらいの加速を目安にする運転方法ですが、燃費改善率は11%と言われており、まさに環境にも財布にも優しく、安全運転にもつながります。

他にも、今日からできる取組みとして、「エコチェックシート」を紹介しました。

「エコチェックシート」は、1日5項目の省エネ・節電の取組みを1週間続けてみようという内容です。ここに書かれている5項目の取組みはどれも難しくはない。できた項目にシールを貼って、1日5点、7日間で35点満点となります。こういった一人ひとりの省エネ・節電の取組みが地球温暖化にブレーキをかけることとなります。

さらに、家庭みんなで省エネ・節電に取り組む際には、「福岡県環境家計簿」を活用していただきたい。環境家計簿は、日頃の生活で使用している電気・ガス・水道などの使用量を書き留めることで、省エネ・節電の頑張りが目に見えます。

環境家計簿を使って省エネ・節電に取り組むのであれば、エコファミリーに登録しない手はありません。

エコファミリー登録制度には、省エネ・節電に取り組む家庭を応援する特典が満載です。

以上の話の総括として、「かけがえのない地球を 未来へ受け継ぎ 次の世代が安全・安心に 暮らせる社会を目指して」という言葉を紹介いたしました。これは、2050年を長期目標、2030年度を中期目標年度として、地球温暖化対策に取り組む福岡県の姿勢を説明したものです。

